

予 算 要 求 資 料

令和 3 度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産研究費

事業名 畜産研究所酪農研究部施設改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

畜産研究所 電話番号：0577-68-2226

E-mail：c24509@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 94,468 千円 (前年度予算額：6,637 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,637	0	0	0	0	0	0	5,900	737
要求額	94,468	0	0	0	0	0	0	85,000	9,468
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

酪農研究部搾乳棟及びフリーストール牛舎は一体となった建築物である。平成 7 年の建設から 20 数年が経過し、搾乳棟の天井部に亀裂が入り一部が崩れ落ちかけている。崩れ落ちかけている部分は搾乳設備の頭上部分であり、今後天井部分が落下した場合、作業する職員の頭上に落下する恐れが大であり、非常に危険であることから、早急に対策工事を実施する必要がある。

また試験牛舎は昭和 57 年 3 月に建築された軽量鉄骨牛舎で、これまで一度も改修工事は行っておらず、経年劣化で屋根には錆や損傷が、外壁については塗装剥がれや亀裂が多々ある。また内部の金属製の柱や柵等に腐食が進んでおり、牛舎の仕切り柵や給餌柵及びそれらを固定している柱についても腐食しているため、屋根や外壁の劣化も含めて、建物の強度にも影響があると思われる。

これらの工事は「県有施設中長期保全計画」に基づくものであり、当牛舎については建築物のライフサイクル(15～20年)以上の年数が経過しており、実際にあらゆる箇所について破損や劣化が激しいため、施設の維持管理上、改修工事を実施する。

(2) 事業内容

工事内容：フリーストール牛舎屋根及び搾乳棟天井改修
試験牛舎の屋根・外壁、内部柱・床・柵等の改修
令和2年度 改修工事設計委託 6,637 千円
令和3年度 改修工事 94,468 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 (県有公共施設であるため)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	94,468	改修工事
合計	94,468	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 県有施設中長期保全計画

事業評価調書

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
畜産研究所酪農研究部のフリーストール牛舎と搾乳棟の天井及び試験牛舎を改修し、牛にも職員にも危険のない環境とする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
工事完了	0 (R1)	(H)	(H)	(H)	1 (R3)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

数値化する指標がない

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</p>	
(評価)	牛にも職員にも危険な状況であるため、改修が必要である。
○	
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	乳牛を飼養する上での危険性が低減でき、乳牛のストレスも軽減できることが想定され、試験、研究に好影響となることが見込まれる。
○	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p>	
(評価)	施設整備の優先度、有効性について施設ごとに検討し、計画的に整備を進めている。
○	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 畜産研究所の設備は古いものが多いため、防疫上の観点からも問題であり、計画的な改修が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 実施設計を踏まえ、改修工事を実施する。 今後も中長期保全計画に基づき計画的に改修を進める。</p>
